

台湾「歴史教科書」における 「南京事件」

弓 削 俊 洋

本稿は台湾の「歴史教科書」における「南京事件」(中国語では「南京大屠殺」)関係の記述を翻訳し、あわせて原文と図版(写真)を参考資料として掲載したものである。

対象とした教科書は、1949年の国民政府(国民党政権)の台湾移転後に出版された初級中学(中学)、高級中学(高校)の教科書のうち、2007年8月までに入手できたものとした。

台湾の教科書編纂は、長期にわたり「国立編訳館」¹⁾など教育部関係の政府機関や組織が担ってきたが、約10年前に民間に開放されて「国定教科書」制から「検定教科書」制²⁾に移行した。これにより高校は中華民国84年(1995年)から、中学も民国94年(2005年)から、複数の教科書会社³⁾による編纂が始まったのである。

大陸同様に台湾でも教科書編纂の指針となる文献が存在する。それが教育部の定める「課程標準」⁴⁾であり、「歴史教科書」も「歴史過程標準」の改訂に合わせて内容を変化させてきた。そのため本稿では「歴史課程標準」の発行年に基づき教科書を排列し(番号の次に「**年課程標準」準拠と表記)、その後、書名を記載する。白抜き番号は翻訳者自身が入手した教科書を、それ以外は国立編訳館所蔵の教科書をテキストとして使用したことを示している。

なお、リスト冒頭の「中」は初級中学、「高」は高級中学の略称であり、①②などの番号は「歴史課程標準」の発行順、「民国**年」は「中華民国」の年号、()

内の数字は西暦である。

1. 初級中学「歴史教科書」における南京事件

中①民国41（1952）年12月 教育部修訂「初級中学歴史課程標準」準拠

『初級中学標準教科書 歴史 第四冊』

（民国44年2月初版 47年2月四版）

（編輯者：中学標準教科書歴史科編輯委員会 発行者：台湾省政府教育廳）

【本文】 p75

上海陥落後、日本軍は上海からと杭州からの二つの道に分かれて西進し、12月13日、南京は陥落した。（淞滬既陥、日軍分沿京滬、京杭兩路西進、南京在12月13日陥落。）

中②民国51（1962）年7月 教育部修正公布「初級中学歴史課程標準」準拠

『初級中学標準教科書 歴史 第四冊』

（民国56年12月四版）

（編輯者：中学標準教科書歴史科編輯委員会 発行者：正中書局等14社）

【本文】 p56

上海陥落後、日本軍は上海からと杭州からの二つの道に分かれて西進し、12月13日、南京は陥落した。（淞滬既陥、日軍分沿京滬、京杭兩路西進、南京在12月13日陥落。）

中③民国57（1968）年1月 教育部公布「国民中学歴史暫行課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第3冊』

（民国58年8月初版）

（主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史教科用書編審委員会 発行者：正中書局等21社）

【本文】 p82

上海陥落後、日本軍は上海からと杭州からの二つの道に分かれて西進し、12月中旬に南京は陥落した。(淞滬既陥、日軍分沿京滬、京杭兩路西進、南京在12月中陥落。)

中④民国61 (1972) 年10月 教育部公布「国民中学歴史課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第三冊』

(民国63年8月初版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p94～95 「日寇在南京の大屠殺」

民国26年(1937年)11月、上海陥落後、日寇は西進し、12月には南京を陥落させた。わが国民政府は事前に西の重慶に首都を移すとともに、死を賭して徹底抗戦することを誓言した。日本軍は南京を占領後、狂った野獣のように血なまぐさい大虐殺を行い、わが首都30万人の無辜の人民はみな日寇の毒手にかかった。ある者は銃殺され、ある者は生き埋めにされ、ある者は川の中心に投げ入れられ、ある者は日本刀で斬首された。女性は無理矢理陵辱され、財産は尽く略奪されるなど、首都は空前の災禍に見舞われたのである。人類文明史上に非人道的な一頁を記録したこの事件は、中華民族にとっての大きな汚辱となったばかりでなく、全世界の平和を愛する民族もこぞって日寇の蛮行に対する譴責の声を上げたのである。(民国26年11月上海淪陷之後、日寇向西推進、12月攻陷南京、我國民政府事先已西遷重慶、並宣言誓死抗戰到底。日軍闖占南京後、如瘋狂的禽獸一樣、進行血腥的大屠殺、我首都30萬無辜百姓都慘遭日寇的毒手：有的被鎗殺，有的被活埋，有的被丟到江心，有的被武士刀砍下人頭。婦女橫被辱暴，財產被擄掠一空，首都遭受空前的浩劫。在人類的文明史上，記下不人道的一頁，這不僅是我中華民族的奇恥太辱，全世界愛好和平的民族，也對日寇的獸行同聲譴責。)

【写真】 p95 (卷末写真A参照)

「日本兵在南京之大屠殺，手拾人頭，面露猙獰之色（日本兵は南京の大虐殺において，人間の頭を手にとら下げて，凶猛さを顔に現している）」

中⑤民国61（1972）年10月 教育部公布「国民中学歴史課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第三冊』

（民国69年8月改訂 72年8月改訂三版）

（主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館）

【本文】 p83～85 「南京大虐殺」

民国26年11月，上海陥落後，日本軍は西進し，12月には南京を陥落させた。そのとき既に政府は武漢に移行しており，続いて重慶に遷都，死を賭して長期抗戦することを誓った。日本軍は南京占領後，狂った野獣のように血なまぐさい大虐殺を行い，財産を残らず略奪した。わが首都の三十万人の無辜の同胞は，日本軍の魔の手の被害者となり，銃殺されたり，生き埋めにされたり，川の中に投げ入れられたり，日本刀で斬殺されたりし，婦女は無惨に強姦され，最後には死体を焼かれた。日本軍のなかには殺人競争をする者さえおり，まさに狂気の沙汰である。この空前の野蛮行為は，人類文明史上に最も凄惨で非人道的な一頁を刻んだ。これは中華民族の不幸であるばかりでなく，人類史上の惨劇でもある。全世界の正義感をもつ人々は，日本軍の蛮行に対して，声をそろえて厳しく非難したのである。（民国26年11月，上海淪陷，日軍向西推進，12月攻陷南京，時政府已遷往武漢，繼遷往重慶，誓死作長久的抗戰。日軍攻占南京後，如瘋狂的禽獸一般，進行血腥大屠殺，財產劫掠一空。我首都30万無辜同胞，慘遭日軍毒手：有的被槍殺，有的被活埋，有的被丟到江中，有的被武士刀砍殺，婦女慘被強暴，最後則放火焚燒屍體。日軍甚至舉辦殺人比賽，真是喪心病狂。這種空前的野蛮行為，在人類文明史上，留下最慘無人道的一頁。這不僅是中華民族的不幸，也是人類史上的慘劇。全世界有正義感的人，對日軍的獸行，同聲譴責。）

【写真】 p85 写真2枚 (巻末写真A, B参照)

写真①「南京大屠殺 日本兵手拾人頭」(=巻末写真A)

(南京大屠殺 人間の頭を手に提げている日本兵)

写真②「南京大屠殺(南京大屠殺)」(=巻末写真B)

中⑥民国72 (1983) 年7月 教育部公布「国民中学歴史課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第三冊』

(民国76年8月正式本初版 78年8月三版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p104 「南京大屠殺的慘劇」

上海陥落後、日本軍は直ちに京滬路及び太湖の南から侵略を行った。国民政府は重慶遷都を正式に宣布し、主力を西に向けて撤退させた。民国26年12月、日本軍は南京を陥落させ、将兵たちが略奪、放火殺人、姦淫、殺人競争さえ恣にするのを放任した。この世のものと思われぬこの大屠殺において、30余万の無辜の同胞が殺された。これは中華民族の不幸であるばかりでなく、人類史上の一大惨劇でもある。(上海淪陥後、日軍即沿京滬路及太湖南側進犯、於是国民政府正式宣布遷都重慶、主力向西撤走。民国26年12月、日軍攻陥南京、竟縱容官兵肆行槍掠、燒殺、姦淫、甚至進行殺人比賽。在這場慘絕人寰的大屠殺中、我無辜同胞三十余万人遇害。這不僅是中華民族的不幸、也是人類史上第一大慘劇。)

「研究与討論」 p 106

二. 看過有關南京大屠殺的記錄影片或照片展出嗎? 内心有何感受? (南京大屠殺的記錄映画あるいは写真展を観たことがありますか? どんな感想を持ちましたか?)

【写真】 p103 写真2枚 (巻末写真C, D参照)

写真①「南京大屠殺(一) 我同胞集体被送往屠場」(=巻末写真C)

(南京大屠殺(一) 集団で屠殺現場に移送されるわが同胞)

写真②「南京大屠殺(二) 日軍残殺我同胞」(=巻末写真D)

(南京大屠殺(二) わが同胞を惨殺する日本軍)

中⑦民国74 (1985) 年4月 教育部修訂公布「国民中学歴史課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第三冊』

(民国76年8月正式本初版 79年8月改訂初版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p78 「淞滬会戦與南京大屠殺」

上海陥落後、国民政府は重慶に遷都した。民国26年12月、日本軍は南京を陥落させ、将兵たちが略奪、放火殺人、姦淫、さらに殺人競争さえ恣にするのを放任した。この大屠殺において、30万の無辜の同胞が殺された。これは中華民族の不幸であるばかりでなく、人類史上の一大惨劇でもある。(上海淪陥後、国民政府遷都重慶。26年12月、日軍攻陥南京、竟縦容官兵肆行槍掠、焼殺、姦淫、甚至進行殺人競賽。在這場大屠殺中、我無辜同胞三十万人遇害。這不僅是中華民族的不幸、也是人類史上一大慘劇。)

【写真】 p77 写真2枚 「南京大屠殺」 (巻末写真C, D参照)

中⑧民国83 (1994) 年10月 教育部修訂發布「国民中学歴史課程標準」準拠

『国民中学 歴史 第二冊』

(民国88年1月初版 89年1月正式本初版 91年1月正式本三版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館国民中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p135

12月中旬、中国軍は南京から撤退したが、日本軍は南京入城後に野獸性を發揮し、日本刀や銃器によって惨死させた中国人は30万人以上にのぼった。南京大屠殺に加えて日本軍の「731」部隊が東北地方で中国人を廃物扱いして細菌実験を行った。また韓国、中国、台湾等の女性に強要して

「慰安婦」とした。(これらは)中国侵略日本軍の重大な罪業をよく表している。(12月中旬、国軍撤出南京、日軍入城展現了他們的獸性、慘死於日軍刀槍之下的中国人在三十万以上。南京大屠殺加上日軍「七三一」部隊在東北以中国人為芻狗的細菌戰実験、強迫韓国、中国大陆、台湾等地女性充当「慰安婦」、充分表現日軍侵華的重大罪業。)

【写真】 p136～137 写真2枚 (卷末写真F, E参照)

写真①「日軍攻占南京後、以各種殘酷手段、殺害中国軍民達30万人以上、史称〈南京大屠殺〉(日本軍は南京占領後、各種の殘酷な手段で、中国軍兵士と民衆30万人以上を殺害した。これを〈南京大虐殺〉という。)」(=卷末写真F)

写真②「日機濫炸南京市區、民房起火(民国26年12月)」(=卷末写真E)
(日本の飛行機が南京市内を空爆し、民家が発火している)

中⑨民国87(1998)年9月 教育部公布「国民中小学九年一貫課程總綱」準拠
民国89(2000)年9月 教育部公布「国民中小学九年一貫課程暫行綱要」準拠
『国民中学 社会 第四冊【二年級下学期】 修訂版』

(民国94年2月初版)

(南一書局国民中小学課程社会領域第四階段教科書編撰委員會 主編：王秋原・吳圳義・林有士 出版人：南一書局企業股份有限公司)

【本文】 p119

日本軍が8月に上海を侵攻すると中国軍が応戦した。淞滬会戦である。日本軍は三ヶ月を費やして上海を攻略した後、南京に侵攻し、無辜の民衆30万人を惨殺して、南京大虐殺事件を起こした。(日軍在8月中進攻上海、国軍還擊、是為淞滬会戦。日軍歷時三個月攻下上海後、進入南京、殘殺無辜民衆30万人、造成南京大屠殺的慘案。)

【写真・写真解説】 p119 図12-2「南京大屠殺」(卷末写真G参照)

民国26年12月、日本軍は南京進入後、30万人を虐殺した。しかし日本は後にこれを承認せず、教科書において中国への「侵略」を「進出」と書き

て、重大な事実を言い逃れしようとさえしている。写真は残酷な日本軍将校二名が正に殺人競争を進めていることを報道した新聞である。(民国26年12月、日軍進入南京後、屠殺30万人、日後却不承認、甚至在其教科書中將「侵略」中国写成「進出」中国、以避重就輕。圖為兩名殘酷的日軍官正在進行殺人比賽的新聞報道。)

中⑩民国92 (2003) 年 1 月 教育部公布「国民中小学九年一貫課程綱要」準拠
『国民中学 社会 第四冊【二年級下学期】』

(民国95年2月初版 96年1月改訂)

(南一書局国民中小学課程社会領域第四階段教科書編撰委員會 主編：王秋原・吳真義・林有士 出版人：南一書局企業股份有限公司)

【本文】 p115

日本軍は8月に上海を侵攻し、中国軍は応戦して淞滬会戦となった。日本軍は三ヶ月を費やして上海を攻略した後、南京に侵攻し、無辜の民衆30万人を惨殺して、南京大屠殺事件を起こした。(日軍在8月中進攻上海、国軍還擊、是為淞滬会戦。日軍歷時三個月攻下上海後、進入南京、殘殺無辜民衆30万人、造成南京大屠殺的慘案。)

【写真・写真解説】 p115 図12-2 「南京大屠殺」 (卷末写真G参照)

民国26年12月、日本軍は南京進入後、30万人を屠殺した。しかし日本は後にこれを承認せず、教科書において中国への「侵略」を「進出」と書いて、重大な事実を言い逃れしようとさえしている。写真は残酷な日本軍将校二名が正に殺人競争を進めていることを報道した新聞である。(民国26年12月、日軍進入南京後、屠殺30万人、日後却不承認、甚至在其教科書中將「侵略」中国写成「進出」中国、以避重就輕。圖為兩名殘酷的日軍官正在進行殺人比賽的新聞報道。)

2. 高級中学「歴史教科書」における「南京事件」

高①民国41（1952）年11月 教育部公布『国民学校社会科課程標準』準拠

『国民学校 歴史課本 高級第四冊 暫用本』

（民国49年1月暫用本）

（主編者：国立編訳館 発行者：台湾省政府教育廳）

【本文】 p31

12月13日、敵軍は南京に進入し、虐殺を恣にした。蹂躪と殺害の憂き目に遭った当時の住民と婦女子は15万人以上に達した。ある者は首を斬られ、腹を切り裂かれ、生き埋めにされ、さらに一つながりに縛られて機関銃で集団射殺されるなど、前代未聞の種々の残酷行為を行ったのである。（12月13日、敵軍進入南京、大肆屠殺。當時居民和婦孺惨遭蹂躪和殺害的，達15万人以上。有的被砍頭，有的被剖腹，有的被活埋，更有的被綁成一串一串的，集體用機關槍射死，種種殘暴，前所未有。）

高②民国41（1952）年 教育部修訂『高級中学歴史課程標準』準拠

『中学標準教科書 高中歴史 第二冊』

（民国43年2月初版 44年2月再版）

（編輯者：中学標準教科書歴史科編輯委員会 発行者：台湾省政府教育廳）

【本文】 p 309

12月、南京が陥落し、日本軍は虐殺を恣に行い30万人の死者を出した。（12月、南京淪陷，日軍肆行屠殺，死者30万人。）

高③民国51（1962）年7月 教育部修正公布『国民学校高年級史地課程標準』

準拠

『国民学校 歴史課本 高級第四冊 暫用本』

（民国57年1月暫用本）

（主編者：国立編訳館 発行者：台湾省政府教育廳）

【本文】 p43～44

民国26年末、敵軍は南京に攻め入り、わが守備隊は一部が包囲を突破した以外は全て壮烈な戦死を遂げた。日本軍は入城後、老若男女を問わず大虐殺を行い、腹を割かれたり、生き埋めにされたり、機関銃で集団掃射されたりして、殉難者は10万人以上となった。当時、目撃した外国人は、現代史上未曾有の残虐の記録であると言っている。(民国26年底、敵軍攻入南京、我守軍除部分突圍者外、其余都壯烈犠牲。日軍進城後不論男女老幼、大規模屠殺、有的被剖腹、有的被活埋、有的集體被機槍掃射、死難的在10万人以上。據當時親眼所見的外国人士說、那是現代史上破天荒的殘暴紀錄。)

高④民国51 (1962) 年7月 教育部修正公布『高級中学歴史課程標準』準拠
『中学標準教科書 高中歴史 第二冊』

(民国55年12月四版)

(編輯者：中学標準教科書歴史科編輯委員会 発行者：正中書局等12社)

【本文】 p 160～161

12月、南京が陥落し、日本軍は虐殺を恣に行い30万人の死者を出した。
(12月、南京淪陥、日軍肆行屠殺、死者30万人。)

高⑤民国60 (1971) 年2月 教育部修正公布『高級中学歴史課程標準』準拠
『高級中学 歴史 第三冊』

(民国62年8月再版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館高級中学歴史科教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p 94

12月、南京は陥落し、日本軍は虐殺を恣に行い死者は30万人に達した。
(12月、南京淪陥、日軍肆行屠殺、死者達30万人。)

高⑥民国72 (1983) 年7月 教育部公布『高級中学歴史課程標準』準拠

『高級中学 歴史 第三冊』

(民国74年8月初版 78年8月五版 83年8月十版)

(主編者：国立編訳館 編審者：国立編訳館高級中学歴史教科用書編審委員会 出版者：国立編訳館)

【本文】 p141

12月12日、南京は陥落し、日本軍は恣に一般人を惨殺し、30万人あまりの死者を出した。南京大虐殺事件である。(12月12日、南京失陥、日軍肆意残殺我平民、死者30多万。是為南京大屠殺案。)

【写真】 p141 図72 (巻末写真H参照)

「日軍野田毅等在南京以戦刀砍殺無辜同胞比賽為樂(民国26年12月13日)」
「日本軍野田等は南京において無辜の同胞を斬殺する競争を行い楽しんだ」

高⑦民国84(1995)年10月 教育部修正発布『高級中学歴史課程標準』準拠

『高級中学 歴史(下) 革新版』

(民国89年2月初版 90年2月修訂二版一刷 90年11月革新版一刷

93年2月修正革新版三刷 94年2月修正革新版四刷)

(著作人：許雪姬、劉妃玲 発行所：三民書局股份有限公司)

【本文】 p149

12月中旬、日本軍は南京に進入し、血なまぐさい虐殺を展開して中国の兵士と市民の30万人以上を死亡させた。これを歴史上「南京大虐殺」という。(12月中旬、日軍進南京城、展開血腥屠殺、中国軍民死亡30万人以上、史称南京大屠殺。)

【写真】 p149 図17-2 「南京大屠殺」(巻末写真I参照)

高⑧民国84(1995)年10月 教育部公布『高級中学課程標準総綱』『高級中学歴史課程標準』準拠

『高級中学 歴史 下冊 一年級下学期用書〔修訂版〕』

(民国89年2月初版 90年2月修訂改版 95年2月修訂版)

(編輯：南一書局高中歷史編撰委員會 出版者：南一書局企業有限公司)

【本文】 p 143

…上海と南京とに兵を分けて侵攻した(…分兵進攻上海, 南京①…)

【本文 注釈】 p 143 註①

民国26年12月12日, 南京が陥落し, 日本軍は恣に銃殺や強姦を行い, 犠牲者の総数は30万人以上となった。これを歴史上「南京大虐殺」という。(民国26年12月12日, 南京淪陥, 日軍肆意槍殺姦淫, 被殺者総数在30万以上, 史称「南京大屠殺」)

【写真】 p 144 図17-4 (巻末写真G参照)

「南京大屠殺 日本報紙之報導 (南京大虐殺 日本の新聞の報道)」

高⑨民国84 (1995) 年10月 教育部修訂頒布『高級中学歴史課程標準』準拠
『高級中学 歴史 下冊』

(民国89年2月初版 91年2月修訂二版)

(総編輯：許明俊 執行編輯：吳芳潔 総経銷：康熙図書網絡股份有限公司)

【本文】 p 131

12月, 南京は陥落し, 日本軍は南京において大虐殺を恣にして, 少なくとも30万人を殺害した。(12月, 南京陥落, 日軍在南京大肆屠殺, 至少有30万人遇害)

【写真】 p 131 図17-1-5 (巻末写真J参照)

「日軍以中国俘練習刺槍 (中国人捕虜を使って刺殺の練習をする日本軍)」

高⑩民国84 (1995) 年10月 教育部公布『高級中学歴史課程標準』準拠
『高級中学 歴史 (下)』

(出版年不詳)

(責任編集：徐慧如 出版者：龍騰文化事業股份有限公司)

【本文】 p 133

12月, 日本軍は南京を陥落させ, 野獸のように婦女を強姦すると共に,

中国人に対する各種の無惨で非人道的な殺戮を行い、大虐殺の中で中国軍兵士と民衆30万人が不幸にも殺された。(12月、日軍攻陥南京、如野獸般地姦淫婦女、並対中国人進行各種慘無人道的荼毒殺戮、三十万中国軍民在大屠殺中不幸遇害。)

【本文 資料】 p 131 〈資料一〉

日本軍が南京近郊への侵攻を開始すると、東京日日新聞は従軍記者による「紫金山麓にて」という記事⁵⁾を掲載した。記事では以下のように書かれている。「准尉宮岡と野田は百人を斬殺する競争を行うことを約束した。12月10日、二人は紫金山の麓で会い、その手には共に刃こぼれた軍刀を持っていた。野田が言った。「おれは105人を殺したが、貴様は？」宮岡が答えた。「おれは106だ！」二人は「アハハハ」と大笑いした。宮岡さんが一人多く殺したのであるが、不幸にもどちらが先に百人斬ったかは確定できない。そこで二人は今回はドロンゲームとし、改めてどちらが先に150人の中国人を殺せるかを賭けることとした。12月11日よりこの競争は進行中である。」(吳相湘『第二次中日戦争史』より)(日軍進迫南京城郊之初、当時東京日日新聞刊載了隨軍記者的一篇「紫金山下」。文章中写到:「准尉宮岡和野田曾約定作一個砍殺一百敵人的比賽。12月10日、兩人在紫金山下相見,彼此手中都拿着砍缺了口的軍刀。野田道:「我殺了105人,你的成績呢?」宮岡答:「我殺了106人!」於是,兩人同作狂笑:哈哈,宮岡先生多殺了一個!可是很不幸,就確定不了是誰先殺到一百之數的?因此他們兩人決定這次是不分勝負,重新在賭誰先殺滿150名中国人! 12月11日起,比賽又在進行中。」摘自:吳相湘,《第二次中日戦争史》)

【写真】 p 130 図11-2 「南京大屠殺」(巻末写真F参照)

「一群日軍正帶着冷淡的表情將南京民衆活埋」

(一群の日本軍が冷淡な表情をうかべて南京民衆を生き埋めにしている)

【問題】 p 131 〈問題①〉

日本の一部政治屋たちは、この南京大虐殺事件を一貫して否定しています。資料1ではなぜ特別にこの論法に反駁しているのでしょうか?(日本

有些政客，一直否認有南京大屠殺這件事。這段資料一，為什麼特別駁斥這種說法?)

高①民国84 (1995) 年10月 教育部修訂頒布『高級中学歴史課程標準』準拠
『高中歴史 本国歴史 (下)』

(民国89年2月初版)

(主編者：高中歴史教科用書編輯委員会 出版発行：正中書局)

【本文】 p150

12月12日，日本軍は南京を攻撃占領して惨殺を恣にし，約30万人余りが生き埋めにされて惨殺された。「南京大虐殺」である。(…12月12日，日軍攻占南京，肆意残殺，惨遭坑殺者約三十余万人，是為「南京大屠殺」)

【写真】 p 150 図17-6 (巻末写真F参照)

「南京大屠殺。日軍活埋中国百姓。」

(南京大虐殺。中国人民を生き埋めにする日本軍)

高②民国84 (1995) 年10月 教育部修訂頒布『高級中学歴史課程標準』準拠
『高級中学 歴史 (下)』

(民国89年2月発行)

(編著者：陳豊祥・林麗月 発行所：建宏出版社)

【本文】 p127

12月，南京が陥落，日本軍は虐殺を恣にして犠牲者が30万人に達した。外国人の目撃者は現代史上で最も野蛮な暴行だといっている。(12月，南京淪陥，日軍肆行屠殺，死難者達30万人；外人目撃者稱為現代史最野蛮的暴行。)

【写真・写真解説】 p 129 図17-7「日軍屠刀下の無辜難民」(巻末写真D参照)

民国26年12月13日の南京陥落後，日本軍による大虐殺は一ヶ月半の長きにわたり，中国人兵士と民衆の犠牲者は30万人以上に達した。(民国26年12月13日，南京陥落後，日軍の大屠殺即延統一個半月之久，中国軍民死難

者達30万人以上。)

注 釈

- 1) 国立編訳館は教育部の直属機関として中華民國21年(1932年)に設立された。民国38年、国民政府の台湾移転により台北に移る。民国42年より教科書編纂業務を担ってきたが、民国80年代後半より同業務が民間にも開放されると、教育部の委託を受けて教科書審査業務を行うようになった。(http://www.nict.gov.tw/tc/about/in_intro.php 国立編訳館HP)
- 2) 註1でも指摘したように、教科書編纂の民間開放後は「国立編訳館」が教育部の委託を受けて教科書審査を実施しており、検定合格した教科書は表紙に「教育部審訂」と明記されている。
- 3) 現在、初級中学用教科書(社会)の編輯出版は四社(仁林、翰林、南一、康軒)、高級中学用教科書(歴史)は8社(三民、全華、東大、南一、泰宇、康熹、翰林、龍騰)が行っている。
- 4) 「歴史課程標準」は日本の「指導要領」にあたる文献で、教科指導の目的、時間数、教材概要、指導方法などを制定しており、教科書編纂にあたっての指針となる。中学関係では2000年より「国民中小学九年一貫課程綱要」と改称された。
- 5) 「百人斬り競争」の記事原文を以下に掲げる。教科書中の氏名、表現と異同がある。

『百人斬り』超記録、向井 106-105 野田 両少尉さらに延長戦』

〔紫金山麓にて 十二日浅海、鈴木西特派員発〕

南京入りまで『百人斬り競争』といふ珍競争を始めた例の片桐部隊の勇士向井敏明、野田巖(ママ)両少尉は十日の紫金山攻略戦のどさくさに百六対百五といふレコードを作つて、十日正午両少尉はさすがに刃こぼれした日本刀を片手に対面した 野田「おいおれは百五だが貴様は?」向井「おれは百六だ!」…両少尉は『アハハハ、結局いつまでにいづれが先に百人斬つたかこれは不問、結局「ぢやドロンゲームと致さう、だが改めて百五十人はどうぢや」と忽ち意見一致して 十一日からいよいよ百五十人斬りがはじまつた。十一日昼中山陵を眼下に見下ろす紫金山で敗残兵狩真最中の向井少尉が「百人斬ドロンゲーム」の顛末を語つてのち 知らぬうちに両方で百人を超えていたのは愉快ぢや、俺の関孫六が刃こぼれしたのは一人を鉄兜もろともに唐竹割にしたからぢや、戦ひ済んだらこの日本刀は貴社に寄贈すると約束したよ。十一日の午前三時友軍の珍戦術紫金山残敵あぶり出しには俺もあぶりだされて弾雨の中を「えいまゝよ」と刀をかついで棒立ちになってゐたが一つもあたらずさこれもこの孫六のおかげだと飛来する敵弾の中で百六の生血を吸つた孫六を記者に示した。

【写真説明】、百人斬り競争、の両将校

(右) 野田巖 (ママ) 少尉 (左) 向井敏明少尉 = 常州にて佐藤 (振) 特派員撮影。(東京日日新聞 1937年 (昭和12年) 12月13日朝刊)

図版資料 台湾 [歴史教科書] における「南京事件」

写真 A	写真 B
中④民国 61 (1972) 初版本 中⑤民国 61 (1972) 改訂版	中⑤民国 61 (1972) 改訂版
	 <p data-bbox="692 946 863 967">殺屠大京南</p>

台湾「歴史教科書」における「南京事件」

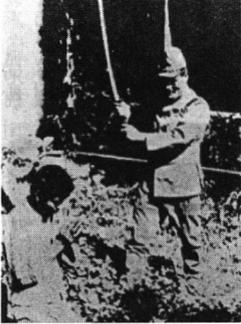
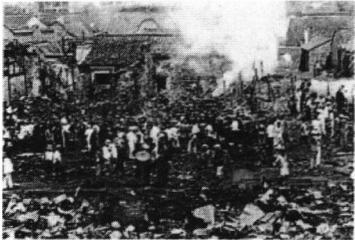
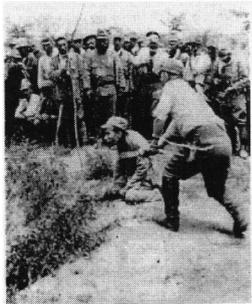
写真 C	写真 D
<p>中⑥民国 72 (1983) 中⑦民国 74 (1985)</p>	<p>中⑥民国 72 (1983) 中⑦民国 74 (1985) 高⑫民国 84 (1995) 建宏出版</p>
	
写真 E	写真 F
<p>中⑧民国 83 (1994)</p>	<p>中⑧民国 83 (1994) 高⑩民国 84 (1995) 龍騰文化 高⑪民国 84 (1995) 正中書局</p>
 <p>日機濫炸南京市區，民房起火(民國 26 年 12 月)。</p>	

写真 G	写真 H
<p>中⑨民国 87 (1998) 中⑩民国 92 (2003) 高⑧民国 84 (1995) 南一書局</p>	<p>高⑥民国 72 (1983)</p>
	
写真 I	写真 J
<p>高⑦民国 84 (1995) 三民書局</p>	<p>高⑨民国 84 (1995) 康熙図書</p>
 <p data-bbox="280 1177 408 1197">圖 17-2 南京大屠殺</p>	 <p data-bbox="655 1149 890 1173">圖 17-1-5 白軍以中國俘虜練習刺槍</p>